

# 東京オリンピック・パラリンピックとSDGs

## リサーチの背景

2020年7月に控えた東京オリンピック・パラリンピック競技大会。携帯電話などの小型家電を回収してメダルに使用するという「みんなのメダルプロジェクト」に象徴されるように、前回の1964年東京オリンピックとは明らかに開催国として求められるものが異なっています。その背景のひとつには、SDGsが大きく影響しています。

作成者: A.S.

レポートに関する  
お問い合わせ:  
03-5542-5300  
info@sfinter.com

## 東京2020大会の持続可能性



▲ 大会公式HPより

## 知られざる持続可能性コンセプト

メディアにはあまり取り上げられていませんが、今大会ではビジョンとコンセプトが定められています。今大会ビジョンは「スポーツには世界と未来を変える力がある」。それに紐づく3つのコンセプトは「全員が自己ベスト」、「多様性と調和」、「未来への継承」とされ、史上最もイノベーティブで世界にポジティブな改革をもたらす大会とすることを掲げています。

また今大会では「**Be better, together より良い未来へ、ともに進もう**」という持続可能性コンセプトが設定され、5つの主要テーマとその目標、各品目の調達コードを定められています。持続可能な社会の実現に向け、課題解決のモデルを国内外に示していくことも、開催国としての重要な役割のひとつとされています。

## 国連キャンペーンでのSDGs推進



▲ 国際連合広報センターHPより

ハンマー投げ元選手・室伏さんによる大会の持続可能性やSDGsへの貢献についてのメッセージ

## 5つの主要テーマとSDGs









5つの主要テーマは、持続可能性コンセプトのもと設定されているため、SDGs(持続可能な開発目標)の17のゴール・169のターゲットに該当する項目が多くあります(詳細裏面)。

本大会を通じて169のすべてのターゲットを網羅することはできませんが、ひとつでも多くのターゲットに紐づけ取組むことこそが、1964年の東京オリンピック、1998年の長野オリンピックとの最も大きな違いではないでしょうか。

## 「見る」から「参加する」へ

本大会の「持続可能性コンセプト」を実現するためには、一部の人たちで構成された大会組織委員会の取組みだけでは難しく、より多くの自治体や企業、そして、私たち一人ひとりの個人が参加をすることが必要となります。私たちも開催国の一員であるという貴重な機会だからこそ、「見る」だけでなく「参加」することで、大会をより一層楽しむことができるでしょう。そして今大会を通じ、国境や世代を越えて「SDGs」の考え方を浸透させることが重要となっています。

## 5つの主要テーマと目標

テーマ	目標		
気候変動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場の約6割は既存の会場を使用</li> <li>・競技会場、IBC/MPCや選手村で使う電力は、100%再生可能エネルギー電力とすることを目指す</li> <li>・排出が避けられないCO<sub>2</sub>等について、カーボンオフセットの取り組みを実施</li> </ul>	 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	 13 気候変動に 具体的な対策を
資源管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロス削減や、不要な容器包装や使い捨て製品を減らすことに取り組む</li> <li>・調達物品のリユース・リサイクル率99%を目指す</li> <li>・大会運営時の廃棄物のリユース・リサイクル率65%を目指す</li> </ul>		 12 つくも責任 つかう責任
大気・水・緑・ 生物多様性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技会場におけるろ過施設の導入や雨水の活用等による水資源の有効利用</li> <li>・在来の植物による競技会場の緑化等により、生物の生息・生育空間をつなぐ生態系ネットワークを創出</li> </ul>		 15 陸の豊かさも 守ろう
人権・労働・公正 な事業慣行等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に則した人権の保護、尊重及び救済の実施</li> <li>・ダイバーシティ&amp;インクルージョンの意識の共有・普及</li> <li>・「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」による大会へのアクセス機会確保</li> </ul>	 5 ジェンダー平等を 実現しよう	 10 人や国の不平等 をなくそう
参加・協働、情 報発信(エン ゲージメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」の推進</li> <li>・「東京2020参画プログラム」をはじめ、参加型のプロジェクト等の機会創出</li> <li>・持続可能性に対する理解と行動を促すために先駆的な取り組みを発信</li> </ul>	 4 質の高い教育を みんなに	 17 パートナシップで 目標を達成しよう

## 参加型プログラム・プロジェクト事例

みんなのメダルプロジェクト	携帯電話などの小型家電を回収してメダルに使用
みんなの表彰台プロジェクト	ヘアケア製品や洗剤容器などのプラスチック容器を回収して表彰台に使用 (回収場所: イオン参加店舗)
みんなで作る選手村ビレッジプラザ	自治体から無償で借り受けた木材を使用してビレッジプラザを建設し、大会後に解体された木材を各自治体の公共施設などでレガシーとして活用
人権啓発キャッチコピーコンテスト	国民から「人権キャッチコピー」を広く公募し、これを法務省の人権擁護機関が実施 人権啓発活動で幅広く使用することにより、大会のレガシーとして継承
おもてなしCHIBAプロジェクト in九十九里・外房	サーフィン競技の会場となっている九十九里・外房地域にて、住民が参加し、地域として 一体感をもってビーチクリーン活動を実施

## 参照・引用資料

- オリンピック・パラリンピックと持続可能性: <https://tokyo2020.org/jp/games/sustainability/>
- 東京2020参画プログラム: <https://participation.tokyo2020.jp/jp/>

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。  
本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。  
株式会社サティスファクトリーは、本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。  
また、本件に関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。